

オーラム・インターナショナル (OLAM)

高付加価値のサプライチェーン事業の強化に注目

フィリップ証券株式会社

シンガポール | 農業 | 業績レビュー

BLOOMBERG OLAM:SP | REUTERS OLAM.SI

- 2016/12 期 4Q (10-12 月) は販売量が前年同期比 14.0%増の 421.0 万トン、売上高が同 12.1%増の 61.06 億 SGD となった。純利益は黒字転換の 1.02 億 SGD となった。
- 食品&加工食品の販売は好調、非食品事業も堅調に伸びた。
- 2017/12 通期の市場予想は売上高が前期比 2.6%増の 211.2 億 SGD、純利益が同 3.7%減の 3.38 億 SGD と増収減益の見通しであるものの、2018/12 通期は増収増益となる見通し。

What is the news?

2016/12 期 4Q は、販売量が前年同期比 14.0%増の 421.0 万トン、売上高が同 12.1%増の 61.06 億 SGD となった。EBITDA は同 34.4%増の 3.49 億 SGD となった。オペレーションの改善や特別損失が減少し、純利益は黒字転換の 1.02 億 SGD となった。ココア加工事業、小麦精製、ピーナッツ加工 (皮むき) 事業の買収に伴う減価償却費の増加があったものの、ネット金融費用が減少し利益を押し上げた。

通期の事業別収益は以下の通り。食用ナッツ、香辛料&野菜事業は、売上高が前期比 5.8%減の 39.81 億 SGD となった。ピーナッツやカシューナッツの販売数量は拡大したが、トマト・ペーストの販売量が落ち込んだ。EBITDA はアーモンドやトマト・ペーストの価格下落が響き同 15.7%減の 3.31 億 SGD となった。菓子&飲料事業は、販売数量が同ほぼ横ばいとなったが、売上高は同 12.4%増の 77.11 億 SGD と好調だった。高付加価値のココア製品の販売拡大、価格の上昇、コーヒー販売の拡大が寄与した。EBITDA はココアとコーヒーなど買収効果もあって同 43.4%増の 4.07 億 SGD。食品&加工食品事業の売上高が同 13.3%増の 61.10 億 SGD、販売数量が同 20.1%増となった。西アフリカでの買収があり、小麦精製量も増加した。また、穀物、米、砂糖、日用品の販売数量が拡大した。EBITDA は同 55.7%増の 3.30 億 SGD。非食品事業の工業原材料・ロジスティック・インフラストラクチャーの売上高は同 8.1%増となったが、コットンの利益率の低下により EBITDA は同 27.0%減の 1.35 億 SGD と大幅減益となった。

How do we view this?

同社は長期的な見通しとして、アグリ・コモディティセクター (農業・商品) は魅力的な事業であり、同社は付加価値の高い川上から川下を統合したサプライチェーン事業を展開しており、利益を獲得できるポジションにあると見ている。2018 年に向けて戦略的な投資を継続していく意向。2017/12 通期の市場予想は売上高が前期比 2.6%増の 211.2 億 SGD、純利益が同 3.7%減の 3.38 億 SGD と増収減益の見通しであるものの、2018/12 通期は増収増益となる見通し。

業績推移

※参考レート 1SGD=81.08円

事業年度	2014/12	2015/12	2016/12	2017/12F	2018/12F
売上高(百万SGD)	19,772	19,052	20,587	21,120	21,522
純利益(百万SGD)	591	-64	351	338	446
EPS(SGD)	0.24	-0.03	0.12	0.10	0.14
PER(倍)	8.33	-	16.67	20.00	14.29
BPS(SGD)	1.71	1.73	1.64	1.70	2.03
PBR(倍)	1.17	1.16	1.22	1.18	0.99
配当(SGD)	0.05	0.06	0.06	0.05	0.05
配当利回り(%)	2.50	3.00	3.00	2.50	2.50

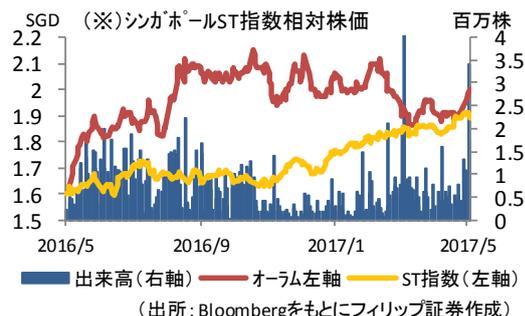
(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

 配当予想(SGD) **0.05** (予想はBloomberg)
 終値(SGD) **2.00** 2017/5/16

会社概要

1989年に農産物の輸出業務を中心にナイジェリアで設立し、一時ロンドンに移転し、1995年に他社との合併を通じ、業務を拡大した。1996年に本社をシンガポールに移転、事業エリアがさらに広がった。農産物商社として農産物および食材の加工、供給をグローバルに行う。世界65カ国で事業を展開し、カシューナッツ、スパイス、野菜、ココア、コーヒー、米、綿、木材など44種類の商品を取り扱っている。

企業データ(2017/5/16)

 ベータ値 0.71
 時価総額(百万SGD) 5,488
 企業価値=EV(百万SGD) 18,101
 3か月平均売買代金(百万SGD) 1,485


主要株主(2017/5)

株主名	(%)
1. Temasek Holdings	52.19
2. Mitsubishi Corporation	20.31
3. Orbis Allan Gray	7.83

アナリスト

 袁鳴
 ming.yuan@phillip.co.jp
 +81 3 3666 0707
 庵原 浩樹
 hiroki.ihara@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

オーラムインターナショナル(OLAM)

2017年5月17日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹
フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 袁 鳴

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。